



かみのせき 議会だより

2024
10/24

No.168



勝利の女神はどっちに

令和6年9月定例会

上関町議会のページ ▶



議案・質疑応答・監査報告	2～3ページ
常任委員会	4～5ページ
討論	6ページ
一般質問	7～11ページ
議員派遣に反対意見他	12ページ
議会日誌	13ページ
研修・陳情・編集後記	14ページ

9月議会

9月定例会は10日から19日までの10日間の会期で開催され、議案は18件、認定1件、報告4件、追加議案2件が原案のとおり可決・承認・認定・同意された。

一般会計は2億5620万5000円が追加され歳入歳出予算の総額は38億820万5000円となった。特別会計については職員の異動や精算などによる増減。追加議案については、

予定価格700万円以上の動産の取得に議会の議決が必要だったところだが、議決を経ずして取得したため追認が求められ全議案可決した。令和5年度決算は、

全員協議会により審議がなされ、意見・要望などが議員により出され認定した。

主な内容

・歳入については

地方交付税の2593万8000円の増額、土地開発公社の

解散による出資金、清算金の741万4000円の増額、公共施設建設基金の繰入金5000万円の減額、繰越金1億2806万4000円の増額、雑入として5450万3000円の増額です。

・歳出については

財政調整基金へ8100万円の増額、新型コロナウイルス予防接種委託料に664万円を計上、診療所建設基金に7800万円を積立、農業振興費

(地域農業資源リノベーション事業※P12下段で解説)に144万円の補助金、商工振興費(道の駅上関海峡修繕工事・上関海峡温泉修繕工事)へ198

万6000円、災害対策費に1700万円(町民の皆さんへの防災グッズの配布)を計上、予備費として3989万3000円を追加した。

◆上関町教育委員会委員の任命

上関町教育委員会委員である溪山浩範氏の任期が、令和6年9月30日で満了となるため引き続き溪山浩範氏を任命する。



溪山浩範氏



修繕予定の「鳩子の湯」の空調設備

監査報告



海下竜一郎
監査委員

令和5年度歳入決算額は、36億1459万1615円、歳出決算額は、34億5566万3850円。翌年度に繰り越すべき財源は、86万3000円で差引実質収支額1億5806万4765円を翌年度に繰り越した。特別会計(12会計)の歳入決算額は、17億6567万4163円、歳出決算額は、17億592万440円、翌年度に繰り越すべき財源は0円、差引実質収支額5975万3723円を翌年度に繰り越した。

厳しい財政状況の中で、自主財源の確保は喫緊の課題。自主財源の確保に努めながら、安定した財政運営に取り組んでいたことを、お願い申し上げ監査報告と致します。

質疑

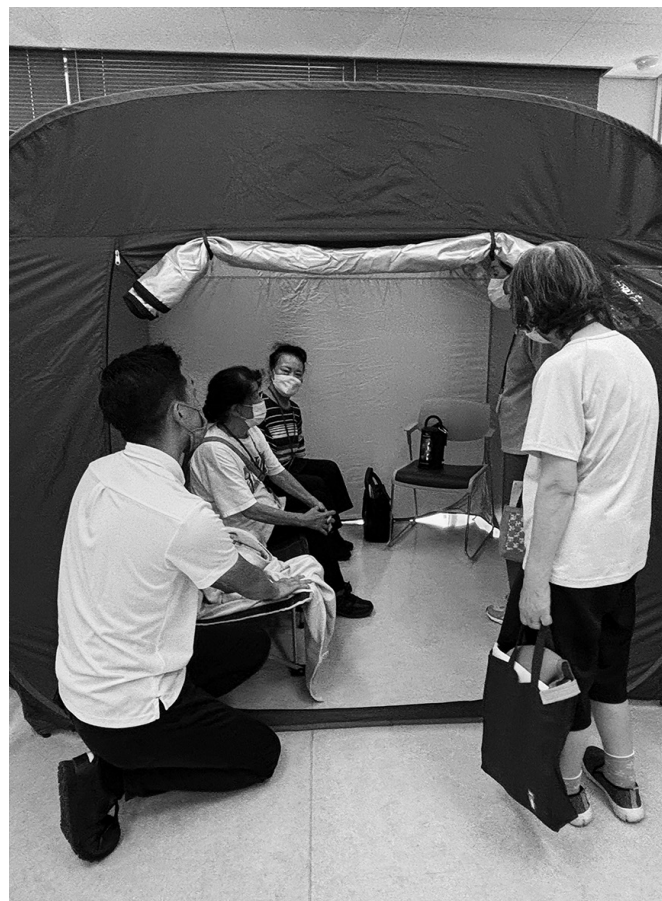
応答

山戸孝 議員

防災グッズを全町民に、とのことだが、予算内容の説明を。防災事業の中でこの事業を優先するなら当初予算に計上すべきだと思うが。また、グッズの耐用年数や更新はどう考えているか。

坪金 財政課長

これは以前から構想としてあったもの。必要以上に予算計上したものであり、今年度の交付金1億4000万円のうち、未



防 災 用 テ ン ト

申請の1000万円を余すことなく有効的に活用できると判断した。

山内 総務課長

近年激甚化する災害に対し、防災グッズを準備されていない方もおられると聞く。改めて防災意識を高めていただくためにとの考えから計上した。耐用年数は5年程度。更新については個人で考えている。

秋山鈴明 議員

防災グッズを配布されても個人で揃えている方もいるため、不要だというケースもあるのではないか。需要調査はされたのか。

山内 総務課長

個人で準備されている方もおられると思うが無駄になるとは考えていない。不公平感の無いようにとの考えもあり、需要調査は行っていない。

基金の残高	令和6年8月30日現在	(単位：円)
山口県証紙購入基金		148,750
土地開発基金		70,670,420
財政調整基金		958,473,622
減債基金		92,656,403
定住促進基金		20,727,006
ふるさと振興基金		369,986,601
公共施設建設基金		516,777,681
社会福祉対策基金		84,567,289
人材育成基金		20,303,871
教育基金		51,004,123
町立学校施設維持運営基金		68,997,193
城山歴史公園施設維持運営基金		3,252,170
新庁舎建設基金		221,292,318
ささえあい基金		169,086,427
国民健康保険事業基金		105,493,907
介護給付費準備基金		85,622,341
上関原電施設特別交付金施設維持運営基金		252,860,115
上関海峡温泉施設維持補修基金		39,175,018
町営住宅維持補修基金		33,143,688
風力発電事業維持運営基金		205,224,242
上関町森林環境整備基金		720,941
上関町診療所施設設計基金		50,462,500
上関町総合計画策定基金		17,655,000
小計		3,438,301,626

総務文教常任委員会

総務関係

令和6年度一般会計

問 需用費の消耗品費で防災グッズを配布することとなった経緯は。

答 防災意識の向上、町の防災事業の重要性、災害発生時に備えた分散備蓄を推進。

関連

問 総合計画のための住民ワークショップが開かれたが、各地の参加者数は。

答 総合文化センターでは、1回目16名、2回目18名、祝島では、1部13名、2部14名。

問 野良猫の避妊去勢費用助成金、予算15万円に対し現時点の実績は。

答 避妊去勢手術助成は、現在21匹申し込み。オスが5000円、メスが1万円で、交付決定額が予算15万円のうち14万9000円支出済みのため、今年度は締め切り。

問 21匹避妊去勢された猫はどの地域か。

答 20匹が祝島、1匹は上関地区。

問 町内放送が流れても、聞きとれない場合は。

答 町内放送を再度聞くことができる、電話番号は改めて広報に掲載するよう対応したい。

町内放送の確認ができます！



「放送がきこえにくい」「聞き逃した…」
このような時には、聞き逃した町内放送の内容を、24時間以内のものに限り確認できます。

電話応答装置電話番号

☎62-5111（※通話料金がかかります）

音声ガイダンスに従って操作してください。

■ご不明な点は 総務課総務係 ☎62-0311へ

文教関係

問 祝島教員住宅改修工事の内容は。

答 祝島小学校に入学する児童がいるので、複式学級となり、臨時採用教員の配置予定があるため、空調更新、水回り改修及び畳・襖の修繕。

問 城山歴史公園の工事請負費が新たに465万円計上の理由は。

答 財源となる助成金の交付を上限まで受けるため改修箇所をピックアップした。

関連

問 祝島小学校の来年度、再来年度は、入学予定者は。教室はどのようになるか。

答 令和7年度2名、令和8年度2名、教員の配置は1人増。教室は1つ増室の予定。

問 祝島小学校と上関中学校の交流について。

答 祝島では7月2・3日に地域の方に神舞で使われる「とま編み」を習い、地域の方へのインタビューや交流して学んだことを11月3日の上関學苑祭で披露する予定。

中学校での活動

上関中学校の生徒が、3年前位から、地域の掃除を、通学路・中の浦海浜公園含め行っている。上関町の良いところは、「自然が多いから草木もたくさん生える」、「狸もアナグマも多い」、「次は地域の方と一緒に草刈りをしたい。何故なら地域の人といろんな会話ができるから楽しい。」

中学生は、地域に恩返しを、という考えでピカピカ大作戦を行っております。



避妊去勢手術した地域猫

産業厚生常任委員会

厚生関係

令和6年度一般会計予算

問 保育所費、財源振替の説明を。

答 保育所の委託料の財源に『過疎地域持続的発展特別事業債』の対象とならない公費分も含まれていたため、起債充当の対象から外し、一般財源が増えている。

問 予防費の委託料が650万円上がっているが。

答 新型コロナワクチンの予防接種費用だが、当初、国が接種費用を1人7000円で示していたのが、1万5300円に上がった分を補正する。

関連

問 診療所基本計画の策定・公表の考えは。

答 基本計画から実施設計まで9ヶ月程度を考えている。公表は考えていないが、議会には提示するようになると思う。

問 オンライン診療などの、独自性のある診療・医療を提供する予定は。

答 現在の診療所が基本。町民からの要望は取り入れていきたい。

問 診療所を木造にする予定は。

答 確定してない。

産業関係

問 ほのぼの活性化センター空調設備更新工事の具体的な内容は。

答 床置き型の空調機器の設置工事。

問 海峡温泉修繕工事の内容は。

答 脱衣室の空調修繕工事。

問 観光費の看板デザイン設置業務の内容は。

答 上盛山展望台の景色を見渡す案内図の整備。

問 道の駅の工事請負費の内容は。

答 テナントの換気扇等設置工事。

問 テナントに入る業者の希望で変えるのか。

答 保健所の許可が従来のものでは下りないため。

問 観光費の財源内訳は。

答 当初予算の過疎対策事業債で550万円計上していたが、展望台の樋の工事を追加しソフト事業でも使える過疎地域持続的発展特別事業債680万円で借り換えした。

問 道の駅来店者数の減少の課題に対してどのような議論・アクションをしているか。

答 魅力ある商品をPRして客単価を上げていき、客数の増加や売り上げ増加を目指している。

関連

問 水軍まつりを規模縮小して開催したが、どのような縮小になったのか。

答 台船からの花火の打ち上げを防波堤に変更し、シャトルバスの運行もやめた。

問 費用は予算の900万円を下回るのか。

答 850万円相当。

問 水道料金について、近隣自治体が上げた理由について。

答 柳井市は将来必要となる施設更新費用も見据えて、料金を随時見直していると聞いている。田布施・平生水道事業企業団は、経営状況が悪く内部留保金も少ないと聞いており、そのことが理由の一つではないかと推測される。

問 水道料金の値上げの議論をしているか。

答 当面は現行の水道料金となる。令和7年度以降は柳井地域広域水道事業団と経営統合を行うので、その後は上関町簡易水道事業の料金設定は企業団で行うことになる。今後は企業団の中で適切な料金の議論をしていくことになる。

賛成!

財源で激論

反対!



検討中の防災グッズのカタログ

賛成多数で可決されました。

採決の結果、賛成6名、反対3名の

議案第2号、令和6年度一般会計補正予算について反対・賛成討論が交わされました。特に中間貯蔵施設計画に係る電源立地地域対策交付金1000万円が充てられた防災費の防災グッズの購入(全町民への配布事業)について焦点が当てられ、それに対する是非が反対1名・賛成1名双方の立場の議員から意見が出されました。

令和6年度
一般会計補正予算で

討論!

反 対



山戸 孝 議員

この議案に反対する。理由は2点。一点目は財源について。防災グッズの全町民への配布事業について、中間貯蔵施設計画に係る交付金1000万円を使うために一般財源から最大700万円を支出するというのはどうなのか。財政が厳しいから中間貯蔵施設誘致を言う一方で、自由に住民サービスに使える貴重な一般財源からの支出は本末転倒ではないか。二点目として、中間貯蔵施設計画について説明も議論もないまま、こうして交付金による事業ばかりが先行することも問題だ。議論が歪んでしまう。

賛 成



柏田 真一 議員

令和6年度一般会計補正予算の災害対策費にある消耗品は防災グッズということとで、最近全国各地で災害が多く不安を感じる町民も少なくないと思う。防災グッズは必要だと思っているが購入方法などわからず購入できない町民もいる。全町民が防災グッズを持つておけば、災害時の避難が少しでもスムーズになり、町民の安心につながると思う。国の交付金1000万円に加えて一般財源を700万円歳出することになるが災害時に一人でも多くの命を守るために必要な予算だと考える。国の交付金を有効活用した補正予算に賛成する。

町政のここが聞きたい

一般質問

今上関町に
なにが必要か

- 中間貯蔵施設
- 核燃料サイクル
- 公共施設の現状
- 町の財政状況
- 移住促進のイメージ戦略

9月定例会では6名の議員が
9件の質問をしました。

質問

上関町における新たな財源として昨年8月に中国電力から提案された中間貯蔵施設の調査・検討について、1年が経過した。この間、事業者や町において、東海第二発電所の乾式貯蔵施設の見学会を実施している。現物を見ることが理解醸成に向けて有効かつ近道の手段だと考える。一層の理解醸成に向けた観点から2点質問する。1点目、町が主催した見学会の評価や参加者の所感は。2点目、また一人でも多くの方に参加してもらおうためのお考えは。

答

中間貯蔵施設の理解醸成に向け見学会を実施

問

中間貯蔵施設の一層の理解醸成に向けた取り組みについて



古泉 直紀 議員

町長答弁

見学会については、事業者だけでなく、昨年から町の方でも実施している。さまざまなお考えの方がおられる中で、一人でも多くの方に見学して、理解を深めて頂きたいと実施している。

1点目の見学会の評価や参加者の所感の殆どは、使用済燃料を安全に保管できる施設だと感じたとのこと。次に2点目の周知・募集方法については、広報かみのせき・町ホームページ・回覧などで行っている。引き続き募集・実施を行う。



施設見学会



柏田 真一 議員

問 核燃料サイクルに関する最近の動きについて

答 核燃料サイクルに関して中間貯蔵施設は重要なもの

質問

六ヶ所村再処理工場はしゅん工時期を、より安全な施設にするため「2026年度中」に見直すことを公表した。青森県むつ市にある中間貯蔵施設は、キヤスクの貯蔵期間を50年と定めることや風評被害に係る措置などを記載した安全確保・環境保全に関する協定を青森県、むつ市、RFSの3者で締結した。この2つの核燃料サイクルに関する最近の動きを踏まえ、我が町の中間貯蔵計画に対する考えは。

※リサイクル燃料貯蔵株式会社

町長答弁

核燃料サイクルにおいて六ヶ所村再処理工場は中核となる施設であり、重要な施設であるため、安全性を最優先としたしゅん工を目指し長期化していると思われる。一方、むつ市の中間貯蔵施設は、来月にでも稼働する予定で受け入れ準備が進んでいる。しかし、問題になるのが、貯蔵期間で、最長50年後の搬出先が明示されていない。国の計画は、使用済燃料を基本的に再処理工場で処理をする。中間貯蔵施設が最終処分場になるという懸念を払拭してもらいたい。

問 中間貯蔵施設の調査検討を受け入れてから1年が経過して

答 事業者、町による施設見学会により理解いただいている

質問

中間貯蔵の調査を受け入れて1年が経過した。当初はエネルギーを作るためのいわば資源

である使用済燃料を核のゴミと表現し、また、まったく別の施設である最終処分場となるなど、風評が多く出回っていた。現在では事業者からの説明や施設の見学などを通して知識が深まり、中間貯蔵と最終処分が大きく違うことなど多くの町民が理解していると感じているが、中間貯蔵に対する町民の理解度をどのように感じているのか。

町長答弁

中国電力による説明会、施

設見学会、各種団体主催の勉強会なども実施されており、町でも見学会を実施している。住民の皆様とお話させていただく中で、中間貯蔵施設がどういうものなのか、少しずつではあるが、ご理解をいただいていることを実感している。今後も施設見学会を継続実施し実際に施設を訪れ実物をみることで、安全性を実感して、正しく理解していただくことが重要であると考えてる。



再 処 理 施 設



山戸 孝 議員

問 使用済核燃料の行き場、50年後にあるのか

答 国において議論される

質問

①中間貯蔵施設計画は住民及び周辺自治体の反発や不信を現在進行形で生みだしている。計画自体も町の進め方もまちづくりの手段として不適當ではないか。②上関町の中間貯蔵施設は永久貯蔵になる懸念がぬぐえない。使用済核燃料の行き場が50年後にあるのか。永久貯蔵にならないと考えるのであれば、その根拠は。③先日、日本生態学会の自然保護専門委員会が町に要望書を提出したが、対応は。中電に環境アクセスを求めるのか。

町長答弁

①周辺市町の首長に対し町の実情や状況を、その都度説明してきた。今後も丁寧の説明していきたい。適地となった場合には建設に向けた議論は十分時間をとるので、本町に上関町に必要な物が住民の皆様を含め判断してほしい。②中間貯蔵施設は永久貯蔵にはならないと考えている。搬出先の確保や最終処分については国において議論されるものと考えている。③昨年8月18日に中国電力に対し「調査にあたって環境に配慮すること」と

要請している。環境アクセスは事業者が判断すること。

問 老朽化公共施設など、今後の方針は

答 早急に対応したいが、財源確保など課題がある

質問

公共施設については第6次総合計画のなかで方向性が位置付けられるものもあると思うが、老朽化などにより長年代替施設が望まれているものもある。①上関地区館について、旧福祉



老朽化の進む祝島公民館

センター館跡地は解体後、更地のままとなっている。②祝島公民館については島の他の施設も含め老朽化は著しく、島民からの代替施設の要望の声は大きい。③上盛山の花木公園の計画は、現在動きは止まっている。これらについて現時点での町の考えは。

町長答弁

①上関の新たな地区館については、関係各課による協議・検討、地区住民の皆様のご意見なども踏まえて建設に向けてできる限り早急に対応したい。②上関地区館も含め財源確保が最大の課題。祝島公民館の整備については第6次総合計画に明記する必要があると考える。③維持管理に必要な水の確保や土地の取得などの問題がある。町の現状や将来の財政状況を考慮すると慎重にならざるを得ない。第6次総合計画を策定中なので、花木公園整備の今後の方針についても審議していく。



清水 康博 議員

問 中間貯蔵施設に関する 住民説明会について

答 状況を見ながら実施
していく

質問

調査受け入れから早一年が経過したが、町から住民に対して行われているのは東海村への施設見学のみ。『適地』という調査結果が出る前に視察見学を行っていることに「時期尚早では」と以前から訴えているが、住民説明会が未だに開かれていないことにも不満を感じている。①なぜ早い段階で中間貯蔵施設に関する説明会を開かないのか。②核燃料サイクルの現状、建設を受け入れた場合のメリット・デメリットなどの情報提供を住民に丁寧に提示するべきでは。

町長答弁

①中国電力による個別の地区説明会は行われている。町としては具体的な時期や内容などについて、国や事業者を交えた協議は行っていない。住民説明会は必要と伝えているが、現在は調査段階で貯蔵規模など内容によって、答えられない場合もあるため、状況を見ながら詳細を示す段階になれば開催したい。



住民ワークショップの様子

問 町の財政状況を踏まえた 自主財源の確保は

答 明確な方法はない

質問

令和6年度一般会計当初予算は、35億5200万円で対前年は、35億5200万円の内訳は、比95%の増額だ。歳入の内訳は、自主財源が全体の19・5%。依存財源が全体の80・5%で依存財源に頼る厳しい町の財政状況。人口減少が進む町において、町税や地方交付税は、減少傾向にある。経常経費の穴埋めとなる財政調政基金の残高は、今年度1億5400万円の取り崩しを行い、令和6年度末で、約7億4700万円の見込みだ。現在の町の財政状況を踏まえ、自主財源の確保に対する考えは。



海下 竜一郎 議員

町長答弁

財政状況を示す主な指標として、財政力指数、経常収支比率がある。令和4年度の指標で財政力指数は、0・113で県内19市町の中で最下位となっている。経常収支比率は、91・1%だが、県内での最下位が96・1%で大きな差はない。自主財源の確保に明確な方法はない。今後も町税や基金繰入金、ふるさと納税など自主財源の確保に向けて努力をし、地方交付税や国・県支出金、地方債など有効活用し適切な財政運営に努める。



自主財源の確保に向けた風力発電事業



秋山 鈴明 議員

問 移住促進に向けた イメージ戦略は

答 財源確保でメリット充実
させ「選ばれるまち」に

質問

ここ2年、町内の出生者数は
わずか2〜3人／年。町長は中
間貯蔵施設に期待したいのだろ
うが、もし仮に“誘致”となっ
たとしても稼働は10年以上先
になる。そんな余裕もないほど
すでに危機的であり、今すぐ移住
者を増やすという当たり前のま
ちづくりをやる必要がある。一
般的な感覚からすれば原発関連
施設がたつとなると不安に思う
人が多いなか、移住したくなる
ような町のイメージ作りが絶対
的に必要だ。町はどう考えるか。

町長答弁

確かに移住政策には町のイメ
ージ戦略は重要。しかし町がな
ぜ原子力発電所の立地や中間貯
蔵施設建設に係る立地可能性調
査の申し入れを受けたのか、そ
の理由は人口減少や産業の衰退
が懸念される中、まちづくりの
ための財源確保や地域振興策に
つながる選択肢になる可能性が
あると判断したため。上関町で
暮らすことのメリットを充実さ
せることで今いる住民の生活を
守り支援し、さらには移住者か

ら「選ばれるまち」につながら
のではないか。

問 中間貯蔵施設の議論の場、 どうつくるのか

答 必要に応じ様々な形で
設けたい

質問

昨年、立地可能性調査を足早
に受け入れた理由について「結
論を先送りしても対立が深まる
ばかり」と町長はいう。対立が
起きたという認識があることは

町長答弁

理解できるが、結論を出してさ
えしまえば町民は納得すると思
っているのか。対話と議論の場
を作り、町を一つにまとめるの
が行政の役割だ。以前、住民同
士の議論の場についても言及し
ているが、具体的にどうつくる
のか。現状、多くの町民が議論
のテーブルに着くと考えている
のか。



移住したくなる町のイメージづくりを

現在は事業者による調査の段
階であり、結論を出す時期では
ない。出すにしても十分な議論
を尽くすべきだと思っている。
議論の場については、現時点で
は具体的に申し上げられないが、
住民説明会をはじめ必要に応じ
て様々な形での議論の場を設け
ていきたい。私の想定としては
国から核燃料サイクルなどのエ
ネルギー政策について、事業者
からは調査結果を踏まえた施設
整備計画の内容について、町か
らは交付金などを活用した振興
策などについて説明し、議論し
ていきたい。

議員派遣に

異議あり!!

令和6年10月31日から11月1日にかけて東京で開催される「全国原子力発電所立地議会サミット（原子力サミット）」への議員派遣が議会に諮られました。原子力サミットは原子力立地自治体の議会・議員などが原子力発電の課題について議論・情報交換する目的で、2年に一度開催されます。上関町は立地自治体ではありませんが、原子力発電所計画があるため参加しており、今回、議員より異議が出されたため議員派遣の是非の決議をとりました。

異議

山戸 孝 議員

原子力サミットには2回参加したが、形骸化していると感じた。あくまで原発立地自治体の議会・議員間の議論・意見交換

のはずが、国への交付金の要望やお願ひばかり。特に前回参加時には、福島第一原発事故による被害からいまだ復興半ばの被災地自治体への配慮の無い発言が他の立地自治体議員からあり、聞くに堪えなかった。本町の議会、議員にとって多大な費用と時間をかけて行く意義は薄い。

採決の結果、賛成6名、反対3名で可決されました。



原子力サミット

地域農業資源リノベーション事業補助金について（2ページより）

実施 種目	事業 実施細目	事業 実施主体	事業 実施期間	採択要件等	補助率		
遊休 資産 の利 活用	遊休資 産を活 用して 営農拡 大する 取組の 実証経 費を支 援 1 中 古農業 用施設 の改修 2 中 古農業 用機械 の改修	市町	原則と して当 該年度	採択要件は次に掲げる全ての要件を満たすこととする。 1 事業実施主体が地域農業資源リノベーション計画を策定すること。 2 支援対象者要件 (1) 地域農業資源リノベーション計画に位置付けられていること (2) 取組内容に応じて、目標年度までに以下の規模の営農を拡大すること	・市町 間接補 助事業 とする ・1/3以 内		
				取組内容		営農拡大面積	
				施設改修		概ね3a以上	
				機械改修		土地利用型：1ha以上、露地野菜・露地花き：概ね30a以上、露地果樹：概ね10a以上、施設園芸：概ね3a以上	
				※育苗用のものについては、その受益面積（本ば）とする			
				3 補助対象要件 原則として、県内生産者が使用していた遊休資産を改修する場合に限る。			
				取組内容		経費区分	要件
				施設改修		1 農業用施設を改修する経費	各経費について次に掲げる全ての要件を満たすこと 1 残存法定耐用年数が2年未満であること 2 既存の施設の代替として修繕（再整備）するものではないこと 3 補助対象のうち概ね4割以上は古品古材を使用すること 4 上限事業費 15,000千円／支援対象者
						2 農業用施設を移設（解体・運搬・設置）する経費	
				機械改修		営農開始又は規模拡大に必要な農業用機械の修繕経費等	次に掲げる全ての要件を満たすこと 1 残存法定耐用年数が2年未満であること 2 支援対象者の既存機械の同規模更新となる機械ではないこと 3 上限事業費 1,500千円／支援対象者 4 計画承認から3カ月以内に竣工（納品）できるものに限る
4 対象品目 原則、産地交付金の県域重点推進作物助成品目等（麦、大豆、たまねぎ、キャベツ、トマト、イチゴ、アスパラガス、リンドウ、ユリ、はなっこりー等）、その他知事が認める品目とする。							

中古のハウスの活用などに補助金が出る事業です。興味のある方は農林水産係へご連絡ください。(62-0360)

議会活動報告（令和6年6月19日～令和6年9月19日）

月日	内容（場所・出席者・参加者）
6月19日	議会運営委員会（山村・海下・古泉・右田・山戸）
6月26日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
6月27日	月例出納検査（海下）
7月1日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
〃	定期監査（海下）
7月2日	県町議会議長会定例会（山口市・岩木）
7月3日～5日	離島地域行政視察（新潟県・岩木）
7月5日	柳井広域消防組合臨時会（柳井市・海下）
〃	議会広報委員会（山谷・海下）
7月8日	議会広報委員会（山谷・海下）
〃	定期監査（海下）
7月9日	定期監査（海下）
7月10日	柳井地区広域市町議会議員研修 （柳井市・岩木・山谷・秋山・海下・柏田・古泉・清水・右田・山戸）
7月11日	定期監査（海下）
7月12日	定期監査（海下）
7月16日	熊毛郡議会広報協議会総会（平生町・山谷・海下）

月日	内容（場所・出席者・参加者）
7月18日	柳井地区広域水道企業団臨時会（柳井市・山戸）
7月26日	月例出納検査（海下）
8月1日	熊毛郡議会議長会定例会（平生町・岩木）
8月15日	二十歳のつどい（岩木）
8月20日	山口県町議会議員広報研修会 （山口市・山谷・海下・古泉・右田・山戸）
8月23日	上関町財政健全化審査（海下）
8月28日	人権学習講座（岩木・古泉・右田・柏田・山谷）
9月3日	議会運営委員会（山村・右田・海下・古泉・山戸）
9月10日	第3回定例会本会議（全議員）
9月11日	全員協議会（全議員）
9月13日	産業厚生常任委員会（山戸・山村・海下・清水・山谷）
〃	総務文教常任委員会（右田・古泉・秋山・柏田・岩木）
9月18日	第3回定例会本会議（全議員）
9月19日	第3回定例会本会議（全議員）
〃	議会運営委員会（山村・右田・海下・古泉・山戸）

令和6年山口県町議会
広報研修会

長尾 真一氏

EBPMとは、証拠に基づく政策立案のことで、全国のいろいろな統計、データの集計についての研修を受けました。



各町ごとの質疑応答

サ
フ
ア
イ
ヤ
A

講演「そろそろ化けませんか!!」
 〓 創意、工夫の取り組みに学ぶ〓

熊本大学客員教授

越地真一郎氏

各町会議員をグループ編成し
※マンダラートで課題探求など
広報に關しての創意、工夫の取
り組みを学びました。

ガザ地区の即時停戦のための
積極的外交を政府に要求する意
見書の提出を求める陳情書

山田茜

母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

張一文

次回定例会の初日は12月3日（火）の予定です。

皆様方のご意見・想い・投稿
などお待ちしております。

※マンダラートとは、発想法の一種であり、アイデアを整理・外化し、思考を深めるものである。

例年になく残暑の厳しい年となりました。昨年の8月に中国電力から、新たな地域振興策として中間貯蔵施設の調査・検討が回答されて、一年が経過し一般質問においても、様々な質問がなされました。現在、住民の方々の理解を深めて頂くため、中国電力と町による東海第二発電所の見学会が行われています。第一義的には中国電力が行うものですが、町長の「百聞は一見に如かず」のお考えのもと、町も一人でも多くの人に参加して理解を深めて頂くことを目的として今後も実施するとのことでした。

議 調	會 查	廣 特	報 別	聽 委	會 員
			委 員	副 委 員 長	委 員 長
山 戸	右 田	古 泉	海 下	山 谷	山 谷
孝	千 賀	直 紀	竜 一	良 数	